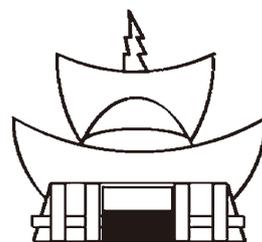


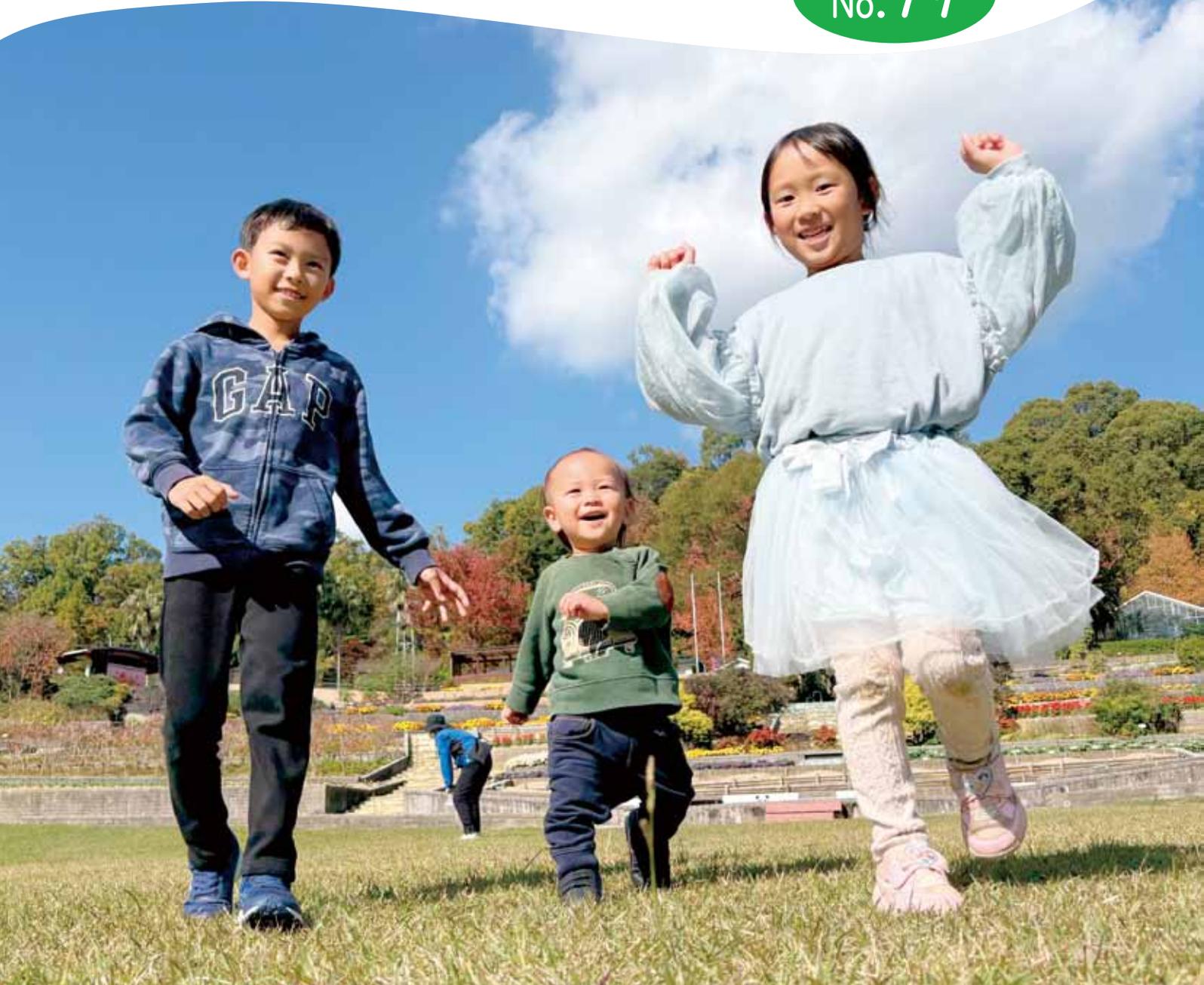
いわで

議会だより

2026.3



No. 79



目次 CONTENTS

- 第4回定例会議決結果 2
 - 一般質問項目 3
 - 発議(規則改正)..... 11
 - 連載;キラリみらいVoice 12
- 3月議会の開催予定日

作品名;みんなでかけっこ

撮影者;ゆきぱぱ

撮影場所;和歌山県植物公園緑花センター

和歌山県 岩出市議会

編集/議会広報常任委員会

岩出市議会ホームページ <https://www.city.iwade.lg.jp/gikai/>



岩出市議会ウェブサイト

令和7年第4回定例会議決結果

◆ 全会一致の議案等

案 件 名		結果
決算議案	令和6年度岩出市国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について	認定
	令和6年度岩出市介護保険特別会計歳入歳出決算認定について	認定
	令和6年度岩出市墓園事業特別会計歳入歳出決算認定について	認定
	令和6年度岩出市水道事業会計剰余金の処分及び収入支出決算認定について	可決及び認定
	令和6年度岩出市下水道事業会計収入支出決算認定について	認定
職員の給与に関する条例及び岩出市会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部改正について		可決
岩出市観光案内所設置及び管理条例の制定について		可決
岩出市水道事業給水条例の一部改正について		可決
令和7年度岩出市一般会計補正予算（第5号）		可決
令和7年度岩出市国民健康保険特別会計補正予算（第3号）		可決
令和7年度岩出市介護保険特別会計補正予算（第3号）		可決
令和7年度岩出市後期高齢者医療特別会計補正予算（第3号）		可決
令和7年度岩出市水道事業会計補正予算（第2号）		可決
令和7年度岩出市下水道事業会計補正予算（第2号）		可決
市道路線の認定について		認定
岩出市火葬場改修工事請負契約について		可決
岩出市議会会議規則の一部改正について		可決

◆ 賛否が分かれた議案等

案 件 名	結果	[○]賛成 [×]反対 [-]賛否に加わっていない [欠]欠席 ※ 議長は通常採決に加わらないため「/」としています。													
		公明党 議員団	創生岩出			郁青青 クラブ			ネット岩出						
		玉田隆紀	大上正春	田畑正昭	福山晴美	西野峻也	井神慶久	三栖慎太郎	尾和正之	牛田佑佳	田中宏幸	福岡進二	杉本直哉	市來利恵	
決算議案	令和6年度岩出市一般会計歳入歳出決算認定について	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
	令和6年度岩出市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
	岩出市議会議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例等の一部改正について	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
	岩出市廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部改正について	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×



一般質問

7人の議員が 市政を問う

- * 質問者本人が質問及び答弁の要点をまとめ、提出のあったものを各議員の責任のもとに掲載しました。
- * 内容等については、質問者にお問い合わせください。

ふくおか しんじ 議員 4ページ
福岡進二

- ◎高齢者のいきいきとした生活について
- ◎生活保護の現状について

おわまさ ゆき 議員 8ページ
尾和正之

- ◎不法投棄問題と防止対策について

おおうえ まさはる 議員 5ページ
大上正春

- ◎マイナンバーカードの更新手続について
- ◎男性へのHPVワクチン接種について

うしだ ゆか 議員 9ページ
牛田佑佳

- ◎高齢者移動支援の現状と今後の方向性について
- ◎病児保育の現状と課題について

にし の たかや 議員 6ページ
西野峻也

- ◎空き家対策について
- ◎健康増進施策について

いち きりえ 議員 10ページ
市来利恵

- ◎全市民への物価高騰対策について
- ◎子育て支援策の充実について
- ◎結婚支援事業の現状と今後の方策について

たばた まさあき 議員 7ページ
田畑正昭

- ◎物価高騰対策について
- ◎子どもの発達障害・発達特性の健診について
- ◎火災による被災者支援について

一般質問項目の事前公表 一般質問の質問者・項目は、事前にウェブサイトで公表しています。



ふくおか しんじ 議員
(ネット岩出)

高齢者の生活を

いきいきと

令和6年度から8年度までの3年を計画期間とする、第9期岩出市高齢者福祉計画・岩出市介護保険事業計画を策定し、その計画に基づき事業を進めている。

質問

①現在の介護予防事業での自主グループ数及び参加人数は。

②今年度の敬老会事業の内容は。

また、令和6年度と比較して、参加人数及びお弁当の申込人数は。

③節目の70歳の方に対し、申請すれば受けられる事業は。

答 弁 生活福祉部長

①・岩出げんき体操 32グループ 424人

・シニアエクササイズ 18グループ 253人

②敬老会実施と、敬老お祝い品としてお弁当または食のクーポン券の配布

また、85歳以上の方には、敬老祝い金として、商工会の商品券を配布。

参加人数464人(98



人増)。お弁当の申込人数は1247人(214人減)であるが、食のクーポン券を受け取る方がそれ以上に増えている。

③本市では既に65歳以上の方に、岩出市巡回バスに無料で乗車できる、あいあいカードがある。

公衆浴場の割引については、和歌山県老人クラブ連合会に、ゆったり会という優待制度があり、カードの提示で県内の入浴・宿泊・温泉等の契約施設で割引が受けられる。

生活保護の現状について

質問

①被保護世帯数及び被保護者数並びに、生活保護相談件数及び生活保護申請件数は。

また、物価高騰は影響しているのか。

②ケースワーカーの資格別の人数及びケースワーカー1人当たりの被保護世帯数は。

答 弁 生活福祉部長

また、物価高騰は影響しているのか。

②ケースワーカーの資格別の人数及びケースワーカー1人当たりの被保護世帯数は。

また、物価高騰は影響しているのか。

【生活保護の現状】

(3月末時点)

	被保護世帯数	被保護者数	相談件数	申請件数
令和4年度	356世帯	405人	144件	72件
令和5年度	366世帯	412人	156件	83件
令和6年度	380世帯	429人	191件	101件

年々増加している

また、物価高騰は影響しているのか。

①

また、物価高騰は影響しているのか。

また、物価高騰は影響しているのか。

また、物価高騰は影響しているのか。

また、物価高騰は影響しているのか。

また、物価高騰は影響しているのか。

また、物価高騰は影響しているのか。



生活困窮に陥る要因は様々であり、物価高騰の影響がないとは一概には言えないが、その背景には、高齢化の進展があり、独り暮らしの高齢者の増加が大きな要因の一つであると考えている。

②生活保護係は、査察指導員1名、ケースワーカー14名の計5名。

5名中4名が社会福祉主事の資格を持ち、平均98・5世帯を担当。



おおうえ まさはる 議員
大上 正春 議員
(公明党議員団)

マイナンバーカードの更新を

マイナンバーカードの有効期限は、本体そのものが10年、カード内の電子証明書が5年となっている。多くの市民の方が、更新時期を迎える。

質問

①更新されないように周知する方法は。

また、高齢者など手続きが困難な方への配慮は。

②令和8年度、更新対象となる人数と、手続きが集中する時期は。

③窓口混雑を避けるための対策は。

④電子証明書の更新忘れは、マイナ保険証の期限切れになるが、その説明と支援は。

答 弁 総務部長

①有効期限2〜3か月前に国から通知が送付されており、随時、手続きを行っている。随時、手続きを行っている。

更新忘れ防止のため、各公共施設に更新手続案内のポスター掲示や、チラシを設置。市ウェブサイトにでも周知を行っている。



デジタル庁の更新手続案内チラシ

に努める。

答 弁 生活福祉部長

④有効期限が切れた後も3か月間はマイナ保険証としての利用が可能。期限が切れている方を把握できるので、資格確認書を郵送している。

再質問

周知方法について、より丁寧に必要な方に確実に伝えるべきと思うが。

答 弁 生活福祉部長

民生委員への説明のお願いや区自治会長会議等の周知チラシの配布。これに加えて、地域包括支援センターにおけるケアマネージャーの研修などでも、声掛けなどの協力を依頼したいと考えている。

男性にも

HPVワクチン接種を

質問

①積極的に情報提供し、市独自の助成の考えは。

②独自助成を実施する場合の財政負担や効果について、先進自治体を調査研究する考えは。

答 弁 生活福祉部長

①積極的な情報提供や市独自助成について、実施する予定はない。
②検討の必要性は認識している。まずは、国の審議会での内容や、アンケート調査の結果等を研究するとともに、先進自治体への聞き取りも行いながら研究していく。



空き家対策について



にしのみ 西野 峻也 議員
(創生岩出)

全国的に空き家の増加
が大きな社会問題となっ
ており、県では21・2%
と全国で最も高く、岩出
市でも今後防災、防犯、
景観面が懸念されている。

質問

①利用可能な空き家の利
活用に対する市の考えは。
②二地域居住の推進に対
する市の考えは。

答 弁 事業部長

①利用可能な空き家は、
利用価値のあるうちに、
賃貸、売却による活用が
有効であり、空き家バン
クの活用を勧めている。

管理不全空家、特定空
家となる前に活用方向を
決め対策を講じる事が重
要と考える。

②二地域居住は雇用の創
出や消費拡大、地域の担
い手や後継者確保などメ
リットがあり、わかやま
空き家バンクに参加する
ことで、移住や二地域居
住などの希望者支援とと
もに空き家利活用促進に
取り組む。



再 質 問

官民連携での空き家の
利活用に対する市の取組
や考えは。

答 弁 事業部長

実施している官民連携
は、空き家に関する総合
的な相談窓口として、空
き家相談センターわかや
まとの連携。また、市の
空き家等対策について調
査・審議の場となる岩出
市空家等対策協議会にお
いては、民間団体の方々
に参加いただき、市の現
状や取組について意見を
いただいている。今後も

必要に応じて民間の力を
借り、引き続き空き家等
対策に取り組む。

健康増進施策について

市では、病気をあらか
じめ予防しようという観
点から、健康増進法の下
様々な取組を行っている。

質 問

①健康ポイント事業の登
録者数は。
②特定検診の受診率は。

答 弁 生活福祉部長

①令和4年度244人
令和5年度287人
令和6年度296人
②令和4年度36・2%
令和5年度38・3%
令和6年度39・7%

再 質 問

①健康ポイント事業の登
録者数増への取組は。
②特定検診受診率向上の
ための今後の取組は。

答 弁 生活福祉部長

①応募をオンラインで行
えるよう電子申請による
受付の実施や、対象者を
20歳以上に拡大している。
②未受診者対策として、
電話・ショートメッセージ



※ナッジ理論：人々が望ましい行動を自発的に
選べるように促す行動経済学の理論

再 々 質 問

①アプリを活用した健康
ポイント事業を行う考え
は。

答 弁 生活福祉部長

アプリ導入には数百万
円の初期費用が必要。応
募者数が300人弱であ
り、まずは市民にしかか
りと事業の周知を行い、
アプリについても研究し
ていく。

暮らしを守る。

物価高対策を

物価高が継続する中、国は重点支援地方交付金の追加を行う方針を示し、食料品の物価高騰に対する特別加算を必須項目として示している。

食料品の値上がりは、市民生活に直結する深刻な課題であり、市民の関心も極めて高い。

質問
物価高騰対策として何に焦点を当て、どのような支援を市民に提供していく考えか。

答 弁 市長

物価高騰の影響を受けた生活者や事業者を支援するため、市民1人当たり6千円の商品券の配布を検討している。

再 質 問

紙方式だけでなく、デジタル商品券を導入する考えは。

答 弁 総務部長

紙の商品券は事務コストが多額となるが、デジタル型商品券でも初期構築、システム維持に多額のコストを要するため、費用対効果について検証が必要と考えている。

また、デジタルの恩恵を享受できる方とそうでない方の格差（デジタルデバイス）も課題であると考えている。



たばた まさあき 議員
田畑 正昭 議員
(公明党議員団)



5歳児健診の導入を

近年、発達障害・発達特性のある子どもが増え、早い段階での気づきから、必要な支援につなげるこことが重要となっている。就学前から就学へ進む時期に、子ども、保護者を支える体制が求められている。

質問

令和8年度、導入を検討している5歳児健診はどのような内容の健診か。

答 弁 生活福祉部長

集団健診方式で総合保健福祉センターにおいて、5歳の誕生日月に実施しようと考えている。

当日は、身体計測や小児科医の診察に加え、5歳児の発達段階に特化した集団遊びを考えている。

再 質 問

5歳児健診で気づきがあった場合に必要な支援につながる切れ目のないフォローアップ体制は。

答 弁 生活福祉部長

再来所や訪問、所属先の集団への訪問指導、公認心理師の発達相談、理学療法士・言語療法士・作業療法士による発達相談などの体制を検討。

教育委員会や各学校へ情報提供や意見交換など、就学を見据えた必要な支援につながる関わりの強化を考えている。

質問
火事被災者のフォローには必要な行政手続や支援制度の内容は。

答 弁 総務部長

手続として、消防署では火災損害届の提出、り災届証明書の発行。市役所では廃棄物の処分、見舞金及び救済物資の支給、市税・保険料等の減免、公営住宅居住者相談等。市役所へ来庁された方には関連部署で情報共有し、負担を少しでも軽減できるよう努める。





尾和 正之 議員
(郁青青クラブ)

現在、多くの自治体で不法投棄が問題になっており、時の世界情勢下のごみの取扱いや、コロナ禍からの影響、現在の物価高騰の波紋など、多種多様な理由の中で、一向に解決、対策が難しいのも現実である。

質問

不法投棄問題と防止対策について

- ①不法投棄への対応は。また、その把握方法は。
- ②過去3年間において、不法投棄の件数
- ・投棄した者が特定できずに市が処理した件数
- ・処理費用
- ・市民からの通報、苦情、相談件数
- ③不法投棄防止のための対策と今後の方針は。

未来の社会問題を提起する

提起する

④不法投棄された廃棄物は誰が処理をするのか。
⑤関係機関との連携は。

答 弁 生活福祉部次長

①毎月3回の職員によるパトロールや不法投棄禁止看板を配布。把握方法は、パトロールでの発見や市民からの通報による。



不法投棄防止の看板

②

	不法投棄の件数	特定できずに市が処理した件数	市民からの通報・苦情・相談件数
令和4年度	18件	8件	10件
令和5年度	5件	4件	1件
令和6年度	6件	6件	0件

・処理費用は把握していない

③広報紙での周知、岩出警察署と連名による看板の配布の実施など。

今後もし引き続き関係機関と連携を図り、パトロールや周知活動に取り組み。

④不法投棄した者が判明している場合は、不法投棄した者が処理をし、不法投棄した者が不明の場合、土地の所有者の責任



で処理していただく。

⑤不法投棄があった場合、また、岩出市生活環境連絡協議会で実施しているパトロールの状況について、県の保健所と情報共有している。

再質問

市民が、泣き寝入りをしていない新たな取組が必要。

①不法投棄の対応についての規約や規則といったマニュアルはあるのか。
②4点目の答弁以外で、本市が市民にできる支援対策の有無は。
③ソーラーパネル2040年問題に関連し、大量破棄される太陽光パネルについて、今後訪れる廃棄処理の逼迫、最終処分所の不足、有害物質による環境汚染、不法投棄のリスクなど社会問題が懸念されている。市独自の取組は。

答 弁 生活福祉部次長

①廃棄物処理法第16条で規定されており、本市では制定していない。

②不法投棄した者が不明の場合、クリーンセンターで処分可能なものであれば、申請いただいで処分する。

③引き続きパトロールや広報紙、市ウェブサイトによる周知、不法投棄禁止看板の配布などを進めていく。



うしだ ゆか 議員
(都青青クラブ)

高齢者移動支援と 病児保育

高齢者移動支援の現状と 今後の方向性

免許返納や加齢による運転の困難をきっかけに、日常生活そのものに制限が生じる。外出機会の減少に伴い、フレイル(要介護状態の前段階)の進行や、心身の健康状態の悪化にも繋がりがねない問題である。

質問

かつらぎ町では、デマンド乗合交通「かつらいど」が令和7年10月から実証実験をし、運行している。これは、5人乗りタクシーを事前に予約し、乗り合いで利用するもので、ほぼドアからドアの運行となる。高齢者の外出支援策として、このデマンド乗合交通の運行、または、タクシーチケット配布の考えは。

答 弁 生活福祉部長

かつらぎ町ではデマンド乗合交通が運行されているが、本市とは環境が異なる。町議会からの長年の要望、スーパー2店

舗の撤退が実施の大きな要因になったと聞いている。本市では、65歳以上が無料で利用できる巡回バスや民間タクシーなど、複数の移動手段があり、スーパーも多いことから、現時点では実施の考えはない。

再質問

高齢者の外出支援として見通しや考えはあるのか。

答 弁 生活福祉部長

他施策とのバランスも考慮しながら、他の市町村等の事例も参考に研究をしていく。



かつらぎ町の乗合交通「かつらいど」
(写真提供:かつらぎ町議会)

病児保育の現状と課題

子育て世代を取り巻く環境は年々変化し、共働き世代の増加、就労形態の多様化により、保護者が仕事を休めない状況になりつつある。子育てと仕事の両立を支える上で、病児保育の存在は重要な役割を担っている。

質問

①病児保育の現状は。
②いわで・きのかわファミリー・サポート・センターに病児保育が可能なスタッフは何名いるのか。

答 弁 生活福祉部長

①令和6年度利用状況 和歌山乳児院内病児保育室「きらら」利用69件。いわで・きのかわファミリー・サポート・センターの利用者は0件。「きらら」では今年度利用者都合のキャンセルが44件。感染症の流行状況等によりやむを得ず断ったケースも11件あった。②研修を受け病児保育可能な会員は37名登録。うち実績がある会員は3名。

再質問

利用を検討している保護者から、手順が分かりにくい、緊急時の申込みが困難、との意見があった。ネット予約の導入や、周知啓発の方法は。

答 弁 生活福祉部長

市ウェブサイトを、岩出市おやこ手帳アプリ、保育所や乳幼児健診でのチラシ配布で周知している。岩出市おやこ手帳アプリで病児保育等の予約ができないか、施設側と協議し、検討しようと考えている。



岩出市おやこ手帳アプリのチラシ

積極的な物価高騰対策を



いちき りえ 議員
市来 利恵 議員

物価高騰がますます深刻な事態となっている。

市民の方から、「物価高騰対策をしっかりと進めてほしい。」「働いても働いても生活は楽にならず、逆に支出が増加し、子どもたちの成長にお金の負担も増え大変です。」たくさんの声が寄せられている。市民の暮らしを支える対策が早急に必要。

質問

市における物価高騰対策は何か。

答弁 市長

市民1人当たり6千円の商品券を配布する事業の検討を進めている。

再質問

さらに、子育て対策における支援策はどうか。

答弁 総務部長

予算の枠の中で、これまでやってきたもの、もしくは検討の中で何か新しいものができれば、対策を講じていきたいと考えている。



国保の子どもの均等割軽減を

社会保険の場合、収入に応じた保険料を労働者と会社が折半し、扶養家族が何人でも保険料は変わりません。しかし、国保税は家族の数が増えるごとに保険料を加算していく均等割という仕組みがある。それが子育て世帯など、家族の多い世帯の保険料を高騰させる重大要因となっている。国において、子育て世帯のさらなる負担軽減の

ため、令和9年度、2027年の実施に向けて、軽減措置の対象を未就学児から高校生年代まで拡充する方針が示された。

質問

国は、18歳以下の均等割額の減免措置は2027年4月からの実施を目指しているが、市独自で前倒しでの実施を求める。

答弁 生活福祉部長

実施する場合、子育て支援の施策の観点から、一般会計から繰入れを実施するのが本来だと考える。しかし、一般会計からの繰入れを行う場合は、その市町村は赤字団体とみなされ、交付金が減額される措置もある。一般会計から繰入れしない場合は、その財源は保険税となり、被保険者の負担増につながるものと考えている。以上のことから、現時点では、市独自で前倒しして実施するのは難しいと考える。

再質問

全国で200を超える自治体が、既に18歳までの独自の減免をしている。一般会計から繰り入れて行っている自治体が多い数ある。法定外の繰入れというのは、法律上、禁止すべきものではないと国会では答弁されている。市の見解は。

答弁 生活福祉部長

法定外繰入れは禁止ではないが市単独の動きは難しい。前倒しを行う場合、技術的にシステム改修が間に合わない。



発議

発議とは、議員または委員会が議案を提出することです。

発議には意見書の提出や条例の改正などがあり、「こんな仕組みにしたい！」などの提案を話し合うために議案として提出します。



詳細はこちら

規則改正

発議第3号 岩出市議会会議規則の一部改正について

全会一致により可決しました。

(提案理由)

起立による表決について挙手その他の方法をもって起立に代えることができる規定を追加するものです。

表決とは議員が賛成、反対の意思表示をすることを言います。これまで会議規則では起立による表決と定められていました。

今回の改正により、けがや障害のある議員が起立による表決が難しい場合のバリアフリー対応（合理的配慮等）として、挙手等による表決が可能となりました。



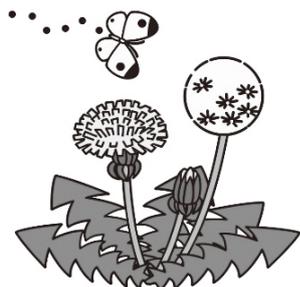
～委員会の構成が変わりました～

【議会運営委員会】（令和7年11月28日付）

◎福岡 進二 ○大上 正春

西野 峻也 井神 慶久 杉本 直哉 尾和 正之

「◎」委員長、「○」副委員長



キラリ みらい Voice

生懸命努力しています。

今年度、和歌山県中学校駅伝大会で岩出第二中学校は六位に入賞しました。この大会は、一位が全国大会、二位から五位は近畿大会に出場できます。目指していた近畿大会に手が届かなかった悔しさを忘れず、来年は一位となり、全国大会に出場できるように部員一丸となって頑張っています。

これから練習に励み、大会で良い結果を残し、たくさんの方に応援してもらい、夢を掴みたいです。



岩出第二中学校 2年 渡辺 侑紀さん

私の夢は、駅伝の全国大会に出場することです。私は陸上部に所属しており、主に長距離走を練習しています。練習は大変ですが、毎日速く走れるようになるために一生懸命努力しています。

た理学療法士さんが、僕に勇気と元気を与えてくれました。目が見えづらく、動くのも大変だった僕に、リハビリの必要性をとて丁寧の説明してくれました。そして、気持ちがふさぎ込んでいた僕に、自分の経験を交えながら楽しい話をしてくれました。そのおかげで、僕はその理学療法士さんと話すと、いつも前向きな気持ちになりました。

だから僕も、将来理学療法士になったときには、この経験を忘れずに、患者さんのつらい心を少しでも和らげられるような理学療法士になりたいと思っています。



岩出中学校 3年 木戸 建瑠さん

「心に寄りそう力を、僕の手で」

僕は将来、理学療法士になりたいと思っています。そのきっかけは、去年目の病気で入院したときのことです。担当してくれました理学療法士さんが、僕に勇気と元気を与えてくれました。

★ 令和8年第1回定例会（3月）の
本会議開催予定日は、次のとおりです。

●第1回定例会（3月議会）日程	
午前9時30分から	
2月27日（金）	施政方針・議案説明
3月5日（木）	質疑・委員会付託
17日（火）	討論・採決
23日（月）	一般質問
25日（水）	一般質問

2月27日（金）の本会議は、午前9時30分から旧和歌山県議会議事堂（根来2347-22）で開会します。ぜひ傍聴にお越しください。

なお、3月5日（木）以降の本会議は、午前9時30分から、岩出市役所の市議会議場で開きます。



議会広報常任委員会

「手に取って読みたくなる 議会だより」を目標に紙面づくりに取り組んでいます

委員長 三栖慎太郎 副委員長 市來利恵 委員 福山晴美 西野峻也 杉本直哉 大上正春 牛田佑佳



岩出市議会ウェブサイト
https://www.city.iwade.lg.jp/gikai/

岩出市議会

検索

携帯電話・スマートフォンなどの
バーコードリーダーで読み取ると
議会ウェブサイトへアクセスできます。

